

会議の名称	令和5年度加東市地域包括支援センター運営協議会
開催日時	令和5年10月3日（火） 午後1時30分から午後2時15分まで
開催場所	社公民館 2階 視聴覚室
委員長の氏名（小野圭三） 出席委員の氏名	森下智行 小野圭三 大西幹文 石田三有希 森下和理 深田初枝 丸山信子 小林敏治 西山昌希
説明のため出席した者の職氏名	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	高齢介護課長 井澤彰子 副課長 北島恭子 主査 松岡玲平 地域包括支援センター副課長 高濱さおり 係長 櫛原ひろみ
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>開 会</p> <p>1 挨拶</p> <p>2 議題</p> <p>（1）令和4年度事業報告について 事務局から説明資料1に基づき説明</p> <p>【質疑】</p> <p>委員：事業の部分で、もう少しどのようなことをされているのかをお聞きしたいところがあります。7ページの生活支援コーディネーター連絡会という事業があるのですが、ここはどのようなことをされているのか教えていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>事務局：生活支援コーディネーターといたしまして、生活支援体制整備事業の中で配置が決められている1層コーディネーターとして市全域を担当する職員が、市の地域包括支援センターに1名おります。また、日常生活圏域、加東市で言いますと、東条・滝野・社の圏域ごとに2層のコーディネーターとして、社会福祉協議会の方に委託させていただいており、社会福祉協議会の職員が1圏域に1名ずつおられます。地域の中で、協議体の活動の支援であるとか地域のつどいの場に出向いて地域の方の声を聞きながらコーディネーターがマッチングをしたり、資源の情報収集を各圏域ごとに行い、月に1回情報交換をしながら、1層と2層で連携しています。そのようなことを、加東市全体として進めて行こうというところで生活支</p>

援コーディネーター連絡会を行っております。

委員：ありがとうございます。生活支援体制整備事業のことがよく分かりました。

もう一つ、最後のページの収支で、この中に参加させてもらっている事業もありまして、ということにお金がこれだけかかるのかなというところを簡単でよいので教えてもらいたいです。包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費になると、決算額が16,706,712円になっていると思うのですが、細かい数字はいいので、参考までにどんな項目にこれぐらいのお金がいるということを教えていただけたらと思います。

事務局：重層的支援体制整備事業の中の地域包括支援センター運営事業の3段目にある包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費は、主に、人件費が充てられています。

その他、ケアマネジャーを対象にした研修の費用や、職員が出向くような研修の旅費や参加費が計上されています。包括の業務の中に、ケアマネジャーさんの支援というところも業務の柱の一つになっております。

委員長：他に何か質疑はございませんでしょうか。

異議はなしということで、提案は承認いただいたものとさせていただきます。

(2) 令和4年度加東市地域包括支援センター自己評価について

事務局から説明資料2に基づき説明

【質疑】

委員：6ページの最後に説明をいただいたところですが、センター主催の地域ケア会議において議事録の検討事項をまとめ、参加者間で共有されているかというところですが、確かに参加者間の中で共有をさせていただいている部分はあるのですが、参加者が非常に少ない会議がありまして、もちろん強制ではないものもありますので、普段している地域ケア会議は大事なのですが、その地域ケア会議を経て、課題整理会議があって、それをもとに、地域の資源の課題について話し合い、行政の方と話し合う会議があるのですが、この間の課題整理会議が非常に参加者が少なく、一部の声しか集まらなかったのではと思っています。それでも、そこで話し合われた内容をもとに推進会議になっていくのですが、そのときの課題整理会議の内容が参加者間だけではなくて、参加していなかったケアマネジャーのところにも届いた方が、次年度からの参加率の上昇というかここで話し合われたことがこういう風に施策への反映に向けた展開になっていくのだということになるので、次年度から、もう少し検討していただけたらどうかと思いました。

事務局：ご意見ありがとうございます。

確かにその場に参加する人が全事業所からというわけではないので、地域ケア会議でこういう内容でこういう話をしましたという報告は、最初の案内の時から別の機会の参加率の高い会議で報告をするなど、何か工夫をして、こういう会議でこういう話し合いをしているという事は周知していきたいと思います。ありがとうございます。

委員長：他に何か質問はありますか。

では異議がないようですので、承認いただいたものとさせていただきます。

(3) 令和4年度事業計画について

事務局から説明資料3に基づき説明

【質疑】

委員：説明していただいた2ページの方の実施方針ということで、重点項目と書いてある2番と7番のところがあるのですが、我々ケアマネジャーもすごく関わりが深い業務であると思うので、前年度からさらに今年度力を入れてこういう事をやっていきたいというようなことがあれば、教えていただきたいと思いました。

事務局：総合相談と認知症の部分は、昨年度の計画でも同じところで重点項目とさせていただきます。4年度から5年度にかけて新たに実施する事業はありませんが、相談件数自体が全体的に増えてきております。相談件数が増えても、丁寧にゆっくり何に困られて相談に来られているか聞き取りをしながら、単にサービスにつなぐだけではなく、望まれる生活というものをしっかりと聞き取るような形で地域包括支援センターの相談対応の質をきちんとしていきたいと思っています。ここには、具体的な事業として上げておりませんが、アウトリーチ活動としまして、福祉票で把握している一人暮らしの高齢者の方には、年に1回必ずこちらから連絡や訪問をすることによって、困りごとがないかという確認をしています。コロナの時期から今年で4年目ぐらいになるのですが、実施は続けていこうと思っています。認知症につきましてもこの総合相談業務と関連が深いのですが、初期集中支援チームという認知症のサポート医師であるとか専門職の方々と、医療や介護に繋がりにくいケースについて検討を行って、なるべくスムーズにつなげられるような事業になるのですが、こちらの相談へつなげるように継続して取り組んでいきます。

委員長：ありがとうございました。何か他に質疑はございませんでしょうか。

ないようですのでこれにて本日の議事は終了いたしました。ありがとうございました。

閉 会

令和5年 11月 6日

委員長 小野 圭三

署名人 大西 幹文

署名人 小林 敏治